

おきさちさんのコラム ナチュラルクリーニング

〈今回使ったアイテム〉

- シャボン玉スノール
- シャボン玉スノール
純石けん
- 酸素系漂白剤



その5 「汗染みたっぷりの夏服、そのまま衣替えしてませんか？」

夏の間、活躍してくれた衣類たち、来年まできれいに保管しておきたいですね。今回は、染みの基本的な落とし方をご紹介します。よほど頑固なもの（墨汁など）でない限り、染みのせいで死蔵品になる衣類は減るでしょう。

最初に、染みの原因そのものを落とします。特にアイスクリーム等、油を含んだ汚れは、染み抜きの際に繊維に油膜を作ってしまうため、「シャボン玉スノール」を垂らし、あらかじめつまみ洗いしておきます。泥汚れなどは、乾いた状態で払い、歯ブラシなどで取り除き、「シャボン玉スノール純石けん」のような固い石けんと洗濯板で洗っておくのもおすすめです。泥は水に溶けない汚れなので、物理的にこする・叩くといった地味な作業が有効です。それでも色素が残ったら、ここからが染み抜きです。酸素の力で色素を分解します。部分的な染みなら、洗面台の上でちょこちょこっとでき



襟の汗染みを落としているところ

ます。染みの部分に「酸素系漂白剤」をばらばらとふりかけ、その上にキッチンペーパーやガーゼを乗せてポットのお湯を上からそっとかけます。酸素系漂白剤が中でしゅわしゅわと泡立ったら10分放置。後は普通に洗うだけ♪

また、普段粉石けんで洗濯していると、うちの子の体操着だけなんだか黄ばんで見える……ことってありませんか？これはすすぎが不十分だったために衣類に残留した石けんの油分が酸化したものです。運動会前に真っ白にしてあげましょう。大きなお鍋（※1）の中に熱めのお湯（50℃くらい）を3L

ほど入れ、シャボン玉スノールを大さじ1杯と、酸素系漂白剤を大さじ1杯半入れて、1時間ほど放置すると本来の白さが蘇ります。綿100%の素材なら5分ほど煮洗いと（※2）、さらに強力な汚れ落とし＆染み抜きになります。皮膚炎などで塗り薬が染み込んだ肌着の黒ずみやぬめりも



体操着を漬け置きしているところ

温度とアルカリの力できれいに溶け出てきます。加熱後は、冷まして絞ってから他の洗濯物と一緒に洗うだけです。あちこち広範囲についた染みもすっきり。色柄ものも鮮やかに仕上がります。これで来年も大活躍です。

染み抜きができると、布製品が、擦り切れるまで（笑）ずっときれいに保てるので買い物の機会はぐんと減ります。石けんや酸素系漂白剤のおかげで、お洗濯がルーチンワークではなく、楽しい時間になりました。次は何を復活させようかな、って、家じゅう探したくなりますよ♪

※1）アルミ製の鍋は変色するので、ステンレス製かホーロー製の鍋をお使いください。

※2）煮沸洗いは生地に負担をかけるので、熱に強い綿・麻100%の衣類の場合のみご使用ください。（化繊との混紡品や、シルクやウールなど動物性の繊維は、変質して溶けたり、縮んだりします）



興 幸子（おきさちこ）さん

大学で天然物化学を専攻し、製薬メーカー、調剤薬局に薬剤師として勤務。安全で気持ちの良い生活法を提案する「ナチュラル家事」の講師として各地で講演中。薬剤師、社団法人アロマ環境協会認定アロマセラピーアドバイザー、ハウスキーピング協会認定整理収納アドバイザー